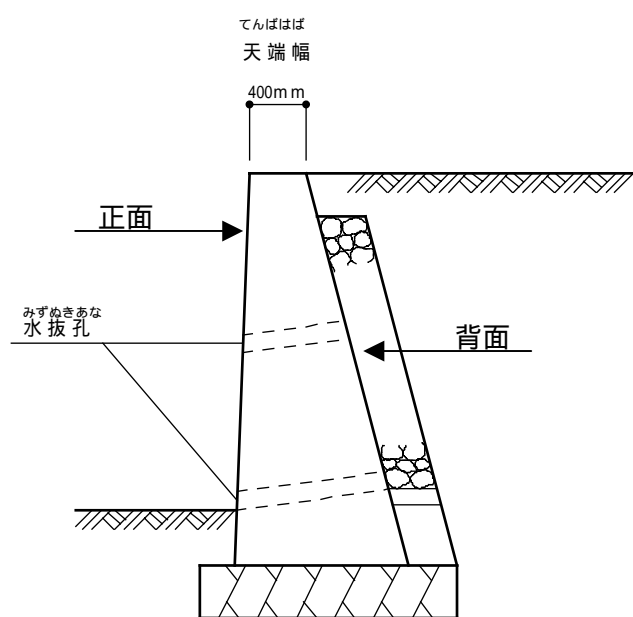


重力式コンクリート擁壁と鉄筋コンクリートL型擁壁のやさしい見分け方.

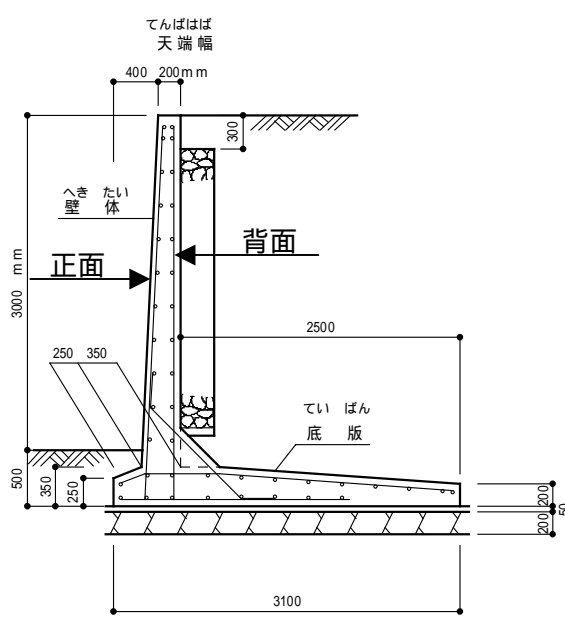
コンクリート擁壁は大別して重力式コンクリート擁壁と鉄筋コンクリートL型擁壁に分けられます。重力式コンクリート擁壁はその重さで背面の土の圧力を支えるものですが、L型擁壁はLの形をした鉄筋コンクリート製の壁体と底版から出来ており、その底版の上に乗った土の重量も含めて背面の土の圧力を支えるものです。

重力式コンクリート擁壁の構造は無筋コンクリート造、L型は鉄筋コンクリート造ですが背面はどちらも土に埋まっています、正面のコンクリート面しか見えません。

擁壁天端幅を見ると重力式コンクリート擁壁は40cm前後で、鉄筋コンクリートL型擁壁は20cm~30cmと重力式コンクリート擁壁より幅が狭いのが特徴です。また、擁壁天端の背面を掘って擁壁の勾配を見ると重力式コンクリート擁壁は勾配が緩いのに対し、鉄筋コンクリートL型擁壁は垂直となっていて壁厚が薄いのが特徴です。



重力式コンクリート擁壁の例



鉄筋コンクリートL型擁壁の例